

1 研究テーマ

『運動の楽しさや喜びを味わうことができる保健体育学習の在り方』
 ～豊かな関わりの中で、みんなが達成感を味わう学習を目指して～

2 研究の概要

(1) 重点研究内容

ア 学習構想案の作成

単元全体を通して「何を身に付けさせたいのか」を明確にするとともに、子どもたちと「育てたい力」のイメージを共有できるようにした。また、学習構想案を作成するに当たってのポイント【資料1】を整理し、研修会で共通理解を図った。

イ フォーアップ運動を考案

「ウォーム・スキル・モチベーション・コミュニケーション」のそれぞれが連動した動き【資料2】を目指し、身に付けさせたい力を育てるための手段とした。研修会では、各学校の体育担当で考案したものを持ち寄り、改善できる動きを確認し合うことができた。

ウ 「育てたい力」を意識した学習シートの作成

「単元のゴールの姿」「単元を通した学習課題」「学習活動」「学習過程の構想」を学習シートに取り入れることにより、教師と生徒が意識（育てたい力）を共有できるようにした。

(2) 研究授業・授業研究会

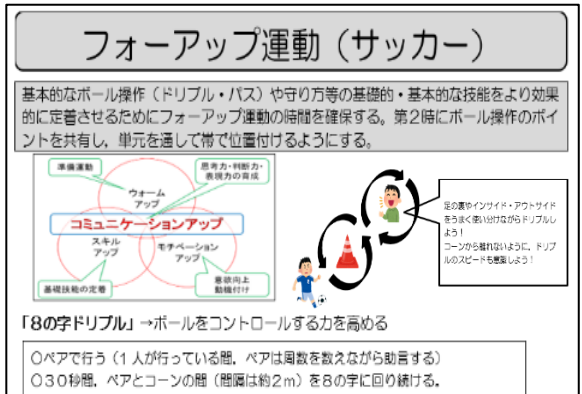
「プレルボール」の研究授業を山鹿中学校で行った際には、学習構想案を作成し、「単元のゴールの姿・期待される姿」の実現に向けて、子どもたちと育てたい力の共有化【資料3】を図った。単元実施前の調査では、球技を苦手とする生徒が三分の一程度存在していたため、ボールに対する恐怖心をなくし、みんなが積極的に参加できるような授業を目指した。研究授業は7時間目（全10時間）に行い、積極的にボールに触れようと動くだけでなく、どのようにしたら得点につながるのかをチームで考える姿【資料4】が多く見られた。授業後の子どもたちの感想には、作戦がうまくいったことや、仲間と声をかけ合い協力する楽しさを実感できたことを学習シートに記入した生徒が多かった。授業研究会では、「ボールに対する恐怖心の軽減であればソフトバレーはどうなのか」や「単元として10時間必要なのか」等の意見が出た。協議を行った結果、種目の選定や必要な時数を検討する際に大切な考え方として、子どもの実態から「その種目の価値」が身に付けさせたい力に繋がる（有用性のある）ものであると、教師側がしっかりとした思いやビジョン（構想）を持って授業を実践していくことが重要であることを確認することができた。今後も単元全体を見通し、考える場面や対話する場面・思いっきり体を動かす場面等をどこに設定するのかを考えた授業を構想していきたい。

解説 P.233→「本解説の明示を取り上げる際には、単元のまとまりごとに更に重点化を図るなど、指導事項を効果的に振り分けるなどの工夫も考えられる。」とある。

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<p>【知識】 ①球技には、単体対面、個人対個人で攻防を要し、勝敗を競う楽しみや喜びを味わえる特性があることについて、誇ったり喜ぶことなどについて、意図的に用いられる技術には名称がある。</p>	<p>【技能】 ①ボールを打つときは、球が振り回しやすいためボールを撃つことができる。 ②相手コートに空いた場所からボールを返すことができる。 ③プレイ開始やサブ種など、各ポジションの位置に異なることができる。</p>	<p>①動きのバリエーションを参考にする。仲間の健康や出来栄を伝えている。 ②提供された練習方法から、自己やチームの健康に合わせた練習方法を考案している。</p>

＜単元の評価基準＞・・・文末を添えるだけでOK
 ◆体育分野の「知識・技能」は、知識と技能に分けて示す。
 「知識」は「知識及び技能」の明示の文末を「～について言ったり書き出したりしている。」～について学習した具体例を挙げている。」とする。
 「技能」は明示の文末を「～ができる。」とする。
 ◆「思考・判断・表現」は、「思考力、判断力、表現力等」の明示の文末を「～している」とする。
 ◆「主体的に学習に取り組む態度」は、愛好的態度、公正、協力、責任、夢見、夢見、共生については「学びに向かう力(人間性)」の明示を「～しようとする。」として示す。
 健康・安全については「～している。」として示す。

【資料1】学習構想案作成のポイント



【資料2】フォーアップ運動例

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	オリエンテーション	ボール慣れ	チーム決め	ボール操作を習得してラリーを続けよう			作戦を立てて、種手を高めよう			リーグ戦	
	体育館の安全確認、挨拶、出席及び体調確認、準備運動、本時の学習内容の確認										
学習の流れ	フォーアップ運動										
	知①【知識】 プレイコート オリエンテーション 試合の進め方 試合の進め方	知②【知識】 ボール操作 ボール操作	技①【技能】 ボール操作 ボール操作	技②【技能】 ボール操作 ボール操作	技③【技能】 ボール操作 ボール操作	技④【技能】 ボール操作 ボール操作	技⑤【技能】 ボール操作 ボール操作	技⑥【技能】 ボール操作 ボール操作	技⑦【技能】 ボール操作 ボール操作	技⑧【技能】 ボール操作 ボール操作	技⑨【技能】 ボール操作 ボール操作
	チャレンジタイム（作戦を立てて実践に移す） 健康安全										
	片付け、振り返り、出席及び体調管理、次時の確認、体育館の確認										
	知・技	知①	知②	知③	知④	知⑤	知⑥	知⑦	知⑧	知⑨	
	思・判・表										
	態度	①									

【資料3】育てたい力の共有化

【資料4】チームで作戦を考える姿

